

引当金 ディスカッション・ポイント

１．引当金専門委員会の検討状況

引当金専門委員会では、IASB が平成 22 年 1 月に公表した IAS 第 37 号再公開草案（コメント期限：4 月 12 日）に対するコメントの検討を行っている。1 月 29 日に開催された専門委員会では、再公開草案の内容の確認及び主要論点に係るコメントの方向性について審議され、2 月 24 日に開催された専門委員会では、コメント文案について審議された。

２．IAS 第 37 号再公開草案に対するコメント

IAS 第 37 号再公開草案は、範囲を測定に限定した公開草案となっており、マージンを含めた測定等が主要論点になると考えられる。また、蓋然性要件の削除や期待値方式への一本化について、再公開草案は改めてコメント募集はしないとしているが、ASBJ の引当金に関する論点整理に対するコメントには反対意見が多くみられた。IAS 第 37 号再公開草案に対するコメント案として、資料 2 のとおりでよいか。なお、コメントの要旨は以下のとおりである。

- ・サービスの引受けによる資源の流出をコストでなく価値により測定することに同意できないため、本公開草案の測定目的は支持しない。
- ・期待値方式への一本化は必ずしも適切ではなく、現行の IAS 第 37 号のように最頻値を使用する余地を残す方が適切と考える。
- ・信用リスクの取扱いを明確化すべきである。
- ・リスク調整については、企業のリスク回避型の選好を前提にすれば、測定において考慮すべきものであることに同意するが、実務的には困難である。
- ・サービス履行義務の測定にマージンを含めることに反対する。

以 上